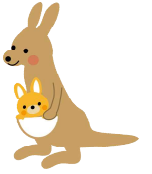




だっこ通信

第43号

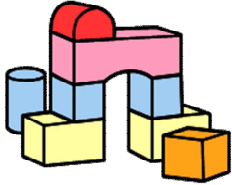
2024. 2月発行



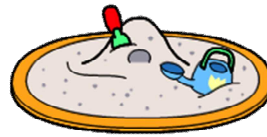
だ いじょうぶ・つ ながる・こ そだて



遊びは学びの宝箱



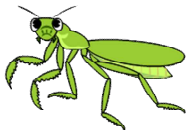
家の中で



庭や公園で



自然の中で



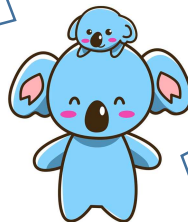
緑豊かなさくら市には、子どもたちがわくわくするような生き物や自然がたくさんあります。この環境を生かして、たくさんの遊びを体験することができます。濡れた葉っぱをさわったり、雨上がりの草の匂いをかいだり、隠れている虫を探してみたり……。不思議に思ったり、興味をもったりすることは、学びそのものです。五感を使うことで、脳への刺激も高まります。もちろん、家の中の遊びも子どもは大好き。おもちゃでなくても、興味のあるものがあふれています。子どもは生まれながらに探究心のかたまりです。



オンフーのつぶやき



子どもって不思議だね。えっ？と思うようなものに興味をもつんだ。振り回したり投げたり舐めたりしながら、まるで硬さや重さを確かめているみたい。子どもにとっては、好奇心をくすぐられるものがたくさんあるんだろうね。



葉っぱ1枚でも遊べるからすごい！形や色、手触りや匂いだけでなく、並べたり、飛ばしたり、ちぎったり、水に浮かべたり……。いろんなことをして楽しんでるよね。遊びながら、おもしろくなる方法をいろいろ試してる。失敗も楽しんでる。こういう遊びを通して主体性が育まれていくんじゃないかな。

子どもの好奇心や主体性を大切にしていこう。危険がない限り、制限したりストップをかけたりしないで、夢中になれる時間を作ってあげよう。

発行者: さくら市生涯学習課(担当 鈴木)